

第7回日本大使杯空手選手権大会
(2026年7月25日(土) 於 リロングウェ ABCブルージム)

2026年7月25日、マラウイ空手協会との共催で、第7回日本大使杯空手選手権大会を開催しました。開催地リロングウェをはじめ、ブランタイヤ、ゾンバ、ンチェウ、カスングから約120名の選手が出場しました。トーナメントは、型・組み手それぞれ男女別、年齢別に行われ、各部門の上位に金、銀、銅メダルが授与されました。



集合写真

内藤大使より、スピーチの中で、500年以上続く空手の技・精神が受け継がれ、2021年東京オリンピックでも空手の試合が行われる等、武道及びスポーツとして世界中で親しまれ発展を続けていると述べました。また、マラウイ国内でも空手人口が増えており、マラウイ空手協会が全国大会の開催や強豪選手の育成等に努め、2025年には、在マラウイ日本国大使館より、マラウイ空手協会に対し在外公館長表彰を行ったことを紹介しました。ワヤ青年・スポーツ・文化副局長は、マラウイにおける空手への継続的な支援に対し、日本国大使館に感謝の意を表明した上で、空手がマラウイの若者たちに規律、献身、そして自尊心を育み、責任のある市民へと成長する助けとなっていることを強調しました。

大会には、主賓のワヤ青年・スポーツ・文化副局長の他、チランブラ保健衛生省副大臣、バンダ・リロングウェ市長や、オリンピック委員会、国家スポーツ評議会、マラウイ警察からの来賓も参加し、多くの観客とともに熱気のある空手の試合を応援しました。

大使スピーチ全文：<https://www.mw.emb-japan.go.jp/files/101065969.pdf>



型・男子



組み手・男子



女子の部



整列する選手たち



開会式 各クラブの紹介



内藤大使によるスピーチ



ワヤ副局長によるスピーチ



メダル授与式



出場した子どもたちと